

# **Nampa Dream**

～童貞から凄腕ナンパ師への道～

**-The second lesson-**

※「ストリートナンパを始めたキッカケ」の話

※音声を文字起こしして、読みやすく修正したレポート

---

カメの相談：

師匠、前回の続きなんですけど、  
ネットナンパとか合コンとか友達からの紹介とか

色々女の子との出会い自体は、18歳の頃から  
増やしてたと思うんですけど、実際に  
ストリートナンパ自体をいつ頃から始めたんですか？

---

ストリートナンパを始める話は、  
またちょっと長くなるんですけど（笑）

カメ「はい（笑）」

結局「いろんな出会い方」をやってた時に、  
思ったんですね。

好きな女性に振られ続けて行き着いた答えとして

**「いろいろな女性と出会って、  
女性の考え、女性心理を知って、  
好きになった女性を惚れさせたい」**

ってというのが1番の動機として僕にはあったんで。

## 「ストリートとか対面ナンパが 一番効率的だな」

って考えたんですね。

今も当時も「ネットナンパ」をやったりしても、  
結局見た目とか雰囲気って会うまでは完全にわからない

当時だったら、ハッピーメールとかワクワクメールとか  
PCMAXとかやってて。

今だと「ペアーズ」「タプル誕生」とかありますね。  
カメさんもやったことあると思うんだけど。

カメ「はい」

なんか結局わかんないじゃん。詐欺写真もあるし。  
電話しても、完全には会うまではルックス、性格、  
雰囲気などの良し悪しがわからない。

ネットでの出会いは「非効率」って思った。

ネットの出会いって、ルックスレベル的にも、

写真で判断して、連絡のやり取りをして、  
実際に会ってみると「全くタイプじゃない」とか。

本当に、会うまでにめっちゃ選んでるんですけど。

例えば、ペアーズみたいなサイトだと、  
「500いいね」とか貰ってる中から  
選んだ100人に1人とかなのに、  
「うーん、微妙。。。 (笑)」みたいな。

時間と労力をかけて

「連絡先交換⇒LINEやり取り⇒デート」  
まで行き着いて、タイプでないと悲しくなってくる。

**タイプの女の子でないと、デートまでにかけた  
「時間」「労力」「お金」が無駄になる。**

そういうのもあるから  
「非効率な出会い方だな」  
って思ったんですよね。

あとは「クラブナンパ」に関してもそうですけど。

結局、

**「クラブが盛り上がるのが  
深夜1時～2時から」**

なので体が疲れるんですよ。

僕が「おじいちゃん体質」だからかもしれないんですけど。

クラブは、酒とか勢いとかで、  
会話は必要要素として薄いんで、  
求めているものと、なんか違うなって思って、

クラブナンパで「Hしたりとかもしてた」んですけど  
ちょっとダラしない女性が多いってという感じで。

結果は出しやすいんですけどね。

「生活習慣がダラしない子って貞操観念が低い子は、  
Hしやすいという傾向がある」んで。  
もちろん全員がそうじゃないんですけどね。

結局ナンパ目的で「クラブ行く」とかってのも  
結構非効率だしクラブ行くなら、

**「クラブに行っても、  
活動時間も夜遅くて、身体も疲れるし、  
酒代や入場料が必要になる」**

**「出会い系アプリなどで出会う女の子と**

**顔や雰囲気もわからないのに  
チマチマとメッセージのやり取りしたり、  
デートの約束を取り付ける」**

のだったら、

**「ストリート、対面ナンパで  
ネットナンパやクラブナンパで出会う子と  
出会えば、お金も時間も体力もかからずに  
効率的でない？」**

ネットナンパやクラブナンパをするなら、  
ストリートナンパをやれば、全部網羅できんじゃない！  
って都合よく考えてたんですね(笑)

ストリート・対面ナンパって「自分の身体1つ」あれば、  
出会いを増やせるわけじゃないですか。

### **【ストリートナンパのメリット】**

- 1：お金も不要（0円で出会いを増やせる）**
- 2：見た目も性格もタイプの女の子だけと出会える**
- 3：出会いを量産できる（1日10人以上とデート可能）**

1番のメリットは、

「トークとかデート経験とかを  
たくさん積むことができてトレーニングし放題。  
望んでいた女性心理、女性が求める男像、  
女性を惚れさせる方法を習得する最短ルートだ！」

コレ最高じゃんって。

この時から10年以上経って、色んな経験をした上で、  
今でも同じように思うので、

間違ってたな、

「出会いの選び方」に関して選ぶセンスは  
良かったなって思うよね。

結局、ナンパを志したのは、  
このときで21歳の時かな。

合コンとか、出会い系とか、紹介とか、クラブはダルい。

「ストリートナンパを極めてやるぜ！」って意気込んで、

とりあえずナンパやってみようと思ったんだけど、

女の子にビビって、堂々と声をかけれないんだよね（笑）

ネットとか色んな教材を買ったりとかして、

トークフレーズみたいのを勉強して、勇気出して、

街に出かけて行っても声かけできないんだよ。

結局、なんとか勇気を振り絞って  
「声をかけました」ってなっても  
その後に何を話したら良いのか未来が見えない。

ネタ系とかでも、道聞きみたいなとか、  
ちょっと笑わせたりとかみたいな感じとかでも

**「声かけ後に、女性と仲良くなる未来が見えないぞ」  
「どうしたらよいか分からないぞ」**

みたいな。

**手を震わせながら、頭真っ白になりながら  
声かけたのに、その後に「あ、あ、あ、」って  
キョドッてオドオドしているだけみたいな感じ**

女の子も「怪しい男の人に声をかけられた」  
みたいな風になるだけ(笑)

そんな感じで、結局、

**勇気を出して声かける**

**⇒女性が驚く**

**⇒緊張しすぎて自分の言葉が出ない**

⇒女性、逃げる

⇒終了

みたいな感じで、何度も言うけど、

**「何話せば成功するか分かんない」**

**「成功する未来が見えない」**

となっていた。

結局なんかコレって俺には無理じゃないかみたいな。

「これ無理ゲ〜じゃね？」って思った(笑)

**「ナンパって、イケメンとかチャラ男とか  
チャライ感じの人しか出来ないんじゃない？」**

って言い訳とかいって、実は一回諦めたんですよ。

かなり前だけどね。

カメさんもそんな感じだったよね最初？

カメ「そうですね、自分で挑戦しようとして、  
全然できなくて、何話していいんだろう  
分かんない。みたいな。勇気出しても、  
アレ？思ったのと違う、みたいな」

そうそう。

なんも希望もないから楽しくない、みたいな。

ナンパして、女性を口説いてセックスしたり、  
彼女にするなんて良い未来が見えない。

見えない見えない（笑）

上手くいく気がしない。

そう。そんな時に、男友達がいる、  
その人に「スゴイ人見つけたぜ」って言って。

**1000人切りのカリスマナンパ師がいるぜ！**

と紹介されたんですよ。

紹介されたっていうか、

そういう人がいるっていうからとタイミングよく  
言われて、「紹介して」って頼んだ。

**「沖縄で総帥って呼ばれている伝説の男だ」**

と紹介された(笑)

「総帥！？（笑）」って興味を惹かれて、  
どんな人なんだろうって思って。

当時バンドをやっていて、男友達ってというか  
その時のギターの4~5個くらい先輩だったんだけど、  
その人に紹介してもらった。

「総帥」って、  
そのギタリストがバイトしている居酒屋での  
同じバイト仲間だった。

そんなにモテるなら  
「めっちゃカッコいい人なのかな」  
って思って妄想を膨らませていた。

そしたら、  
**総帥は、当時31歳の既婚者で。  
メッチャ出っ歯だった（笑）**

カメ「そうなんですね（笑）」

**お腹もちょっと出ててみたいな、  
焼き鳥屋で働いているフリーターのオッサンだった。**

**身長165センチ位で。中卒フリーター。  
お腹がポコって出たオジさん体型。**

「あ、この人が総帥か！」とって。

焼き鳥を焼く系の居酒屋だったんですけど、  
自分はお客さんとして、対面で焼き鳥を焼いている姿が  
見える位置のカウンターのイスに座った

総帥は焼き鳥を焼きながら、当時だから、  
PSP（プレイステーション・ポータブル）かな？

**PSPをずっとやりながら焼き鳥を焼いていた（笑）**  
**仕事めっちゃいい加減(笑)**

「今、フリーザ倒してるから待ってくれ」って（笑）

ドラゴンボールのなんか格闘ゲーをやってて、  
なんか「あー」とか「ふー」とかゲームしてる。

フリーザを倒した段階で、会話できるタイミングになって  
「そんなにモテるってスゴイっすね」  
みたいな形で話しかけてさ。

で、僕自身が

「モテるのにお金とか顔とかって関係ないんですか？」  
って言ったら、

**「俺、時給720円だぞ」**

**「31歳で結婚してて、フリーターだぞ（笑）」**

**「お金って関係ねえよ。顔もコレだぞみたいな（笑）」**

って这种感觉の回答が来た。

体験人数も「1000人切り」くらいしてて、  
実際にその時でも普通に、たまに「海ナンパ」をしてて、

もう夏も終わりの9月くらいだったんだけど、  
「今からでも100人くらいはいけるんじゃないかな」  
とか真顔で言って。「マジか！」って驚いた。

「観光客の女の子相手」がメインだったみたい。

**奥さんが元大阪のめっちゃ有名なキャバ嬢で  
めっちゃ美人。奥さん紹介されたけど、超美人やで**

総帥は、時給720円の焼き鳥のオッサンだけど(笑)  
カメさんより、時給低い。

カメ「そうですね(笑)」

**ある日、総帥と一緒にローソンに行ったら、  
レジにめがけて行って、  
「何するんだろう」と思ったらさ、**

「お前、めっちゃ可愛いな！」

ってコンビニのレジの女の子に向かって

ナンパしだした（笑）

「（総帥）俺、ときめいたよ」って（笑）

スゴイめっちゃ明るいからさ、  
当たり前のような顔して、  
後ろにレジ待ちのお客さんが来たらさ、

「ちょっと待って。今この子ナンパしてるから」

って言って（笑）

「兄ちゃん頑張れ！！」  
とかめっちゃ応援されてる(笑)

メンタリティが本当すごいなって思って。

普通はコンビニナンパとか迷惑じゃん。イメージとしてはさ  
ネチネチと永遠に絡まれて「ウザい」みたいな。

**総帥の場合は当たり前前に声かけ過ぎて、  
周りのお客さんに「兄ちゃん頑張れ」  
って応援されてる（笑）**

で、連絡先聞くのには成功してた。  
その後どうなったかは知らんけど

「すげえな」って思っただ。

そんな感じで、ナンパ師、モテる男を目の当たりにして、  
**「ナンパ師、すげえな！」って感動した。**

そう。なんか、総帥が言うには、

**「ナンパには成功パターンがある」**

みたいな極意を教わった。

そう。成功パターンって言うのは、

「海ナンパ」の時は海に行って、

お酒なんかをクーラーボックスみたいなのに  
詰めて、持って行って「一緒に飲む？」  
みたいな感じで女の子を誘う。

3対3みたいな感じでグループで飲むんだって。  
そのあとに居酒屋に行って、楽しく飲んで、  
ホテルに誘ってみたいなのがルートらしい。

ホテルに誘うのが無理だったら、  
総帥は、元々、クラブで「DJ」やってて、

最後の必殺技は、ホームのクラブ行って、  
DJでクルクル回してたら「100%イケる！」  
「失敗したことない！」って（笑）

**「やっぱ、女は仕事している男が好きなんだなあ」**

って総帥が語ってた(笑)

観光客相手で作ってるから、

トラブルも一切なくて

「思い出として楽しんで終わる。一夏の思い出」

って遠い目で話していた。

あとは、総帥の紹介で、

カメさんにかなり昔に話したことあるけど。

**身長145cmくらいの黒人。**

**1万人切り以上している (笑)**

**「毎日新規4人とセックスする」**

のがルーティンという**AV男優並みの絶倫男。**

実際それを見てた訳じゃないけど、

総帥とか周りの凄いナンパ師たちが

「あいつはヤバい」「伝説」

ってみんな言う(笑)

**「沖縄で知らない奴はいない」**

というカリスマみたい(笑)

だから本当だと思うんだけど、  
彼は本当セックスしかしてないから。人生でね (笑)

時間も決まっているらしくて、  
19時、21時、24時、にナンパした子とセックスして、

**カリスマは、知り合いが経営している  
ラブホテルに家賃3万円で住んでた。**

最後に3時過ぎに「ホテル 兼 自宅」に  
女を連れ込んで1日のラストみたいな。

このセックスルーティンを総帥が目撃しているだけで、  
**「10年以上繰り返していた」**って。

顔が、超明るいんだよね。総帥もそうだけど。

カリスマは、日本語もカタゴトなのに。

ジゴロパンダ「なんで、ラブホに住んでるんですか？」

カリスマ「家でやることってセックスだけでしょ  
なら”セツヤク”でしょ？」

頭がどうなってんだらうって、  
若者には刺激が強かった（笑）

本当にちょっと言えない位の、  
今も**現役の大物芸能人**とも何人もやってる。

（遊んでた子もモデル系キレイ系ばかりだったけど、  
結婚したのは家庭的な普通の子だと  
総帥は言っていました）

その時にやっぱスゴイなって思って。  
僕も身長が小さくて、コンプレックスだったから。

**「あ、モテるのに身長って関係ないんだ」**  
とって。

**「チビでもいけるんだ！」**

僕の中ではすごくもう「パラダイムシフト」  
が起こったよね。

「ガラッと価値観変わった」「あ、いけるんだ」  
とって。

世の中「顔じゃねえ」みたいな事をよく言われるけど、

実際確かに顔がいい方がいいんだよね。  
竹内涼真君みたいな顔だったらいいんだけど、

高身長爽やかイケメンでみたいな。

でも **「低身長ブサイクでもイケるんだ」**

って気づかせてもらった

カリスマも「顔は全然カッコよくなかった」。  
それでもイケるんだ！って希望が見えた。

**「生命力」とか「笑顔」とか「裸一貫」  
で勝負できる感じがカッコいいなと思って、**

俺の中ではすごくカッコイイと思って、  
超堂々としてて、別に偉そうでも傲慢でもない。

当たり前顔をして、

**「人生、楽しめばいいんじゃない」**

って感じで。

僕も真面目だから根がね。

本音で欲望に正直に生きているって感じで。  
ギラギラして、迷惑をかけたとか

してるわけじゃなく、

## 「失敗しても笑い飛ばす」

ような感じが「すげえカッコイイな」と思った。

その超外交的で、  
メンタル強くてエネルギーッシュみたいな。

それに憧れて僕は

## 「本気でナンパ師になろう！」

と思ったんですよ、そんな時にね。

あ、こうなりたいなって、

「こういう風に生きられる男になりたいな」  
って思った。

そうそう。それからかな。ナンパをやろうかなと思って、  
わざわざ東京で就職活動して、普通に内定とかも  
全部決まっていたんですけど、断って。

大学卒業した後に

「ナンパするには活動資金として金が必要だな」  
って思って。

起業とかしてたんすよ。

アフィリエイトとか、  
コピーライターとかやりながらね。

結局それでこう、  
中途半端な気持ちだから上手くいかなくて。  
ちょっとは稼げてたんだけど生活費くらいは。  
(利益で月20万とか、そんなもんです)

生活ギリギリみたいな形で「未来ねえな」と思って。

**一日中、仕事して、それに時間とられるし、  
「ナンパ」「女遊び」とかに時間を投資できない  
なってどん詰まりだった。**

一回、会社員をしたら時間出来るのかなと考えた。

「会社員やって、お金貯めてから  
ナンパをやってもいいのかな」  
と

何をやっても中途半端だったから。

ネットで起業した時に「兵庫」とか「埼玉」とか  
色んなところを転々としながら、  
起業して住んでたんすけど。

そのあとに、自営業やってる時に知り合った社長に  
リクルートされて、小っちゃい会社なんだけど。

僕自身も、恋愛コミュニケーションを勉強して、  
かなり人当たり良くなってたんで「営業」として  
スカウトされた。

**北海道の「人口3万人位」の小っちゃい街なんだけど、  
そこに一回行ってみようかなと決めた**

色々お世話になってたんで、その時にすっげー、  
僕の中でシフトしたのが、田舎ってスゴイのね。

カメ「はい」

## 田舎の女の子って超ハードル低い

(ジゴロパンダ自身の) 見た目がダサかった。  
服装とか、髪型とか、今と全然比べモノにならない  
くらいダサかった。

それなのに田舎の女の子は、普通に「カッコイイ」  
とか言ってる。「マジ!？」って本当にビックリした(笑)

田舎って **「ライバルの男が超弱い」** なんだよね。  
みんな、イオンで服買うくらいのルックスレベルだし。

若い男なんていないし。

女の子自体は、田舎でも結構いる。

**よく恋愛相談で来るんですけど、  
「田舎で出会いがないんです」って。**

**男が出会いなければ、  
女の子も、もちろん出会い無い。**

**むしろ、田舎で通じないなら、  
都会じゃ余計に女の子に相手にされない。**

意外とUターンして帰ってきた女の子とか。  
大学卒業して、地元で働いている子とか。  
看護師さんとか、保育士さんとか、  
色々なところに女の子はいる。

田舎でも、普通に「かわいい子」っているから  
口説けたりする。

(素朴な可愛い、美人がいます)

人数比率として、男がショボすぎたり、高齢化、既婚者で  
普通に「男1」「女の子5」くらいなイメージ。  
ハーレム。

田舎も田舎で意外と「いいんだ」と思って。

男女の出会いの場所は、

**「バーでナンパ」「店員ナンパ」とかしたら、  
めっちゃ反応いいんだよね。**

女の子も出会いが無さ過ぎて、

「あ、ちんこ歩いてる」ぐらいの感覚（笑）

冗談だけど、本当、それぐらいの勢いで  
めっちゃ反応良くて。

その中でも「結構遊んだりとか」してたけど、  
めっちゃ「貧乏」だった。

**家賃1万円の一軒家に住んでたから。**

カメ「一万円の一軒家？（笑）」

俺「貧乏芸人」みたいな暮らししてた。

**「固定費」をとりあえず安くしようと思って。  
「自己投資」したかったから。**

頭とか勉強の本の方とかにね。

**(服とか髪型とかルックスではない)**

「自己投資」って凄く大事だから。  
能力伸ばすのに。

**何度も言ってるけど。働く時間を少なくして、  
「お金どんだけ貯めるか」っていうマインドだった**

それをどうやって投資していくのかとか。  
そういうのをやっぱ考えてて。

だって「良くない？」スマホゲームとか飲んだり  
するよりさ、女の子とセックスしたりする方が？

自分に投資したりとか。  
そういうことをひたすら考えてて。

その一軒屋ってのが、三代目くらいの社長なんだけど、  
昔に、家を買ってて築100年くらい。

上はあれさ、1階と2階あって、2階もあんねん。  
2階は幽霊出そうな雰囲気

女の子もビビるくらいの雰囲気 (笑)

「えー、ヤバくない？なんか出るよね」  
みたいな靈感ある子だと「入れない」とかって

言うぐらいホラーな感じ。

それくらい、実際に古くて、お風呂のお湯も出ない。

流し台はお湯が出る。ガスあるから。

だから、台所の上に上がって、  
チンコとか洗う。髪も台所で洗う。

身体を洗うのもタオルで拭いて終わりみたいな。  
たまに銭湯いくみたいな。

## **「売れない芸人」みたいな生活してた**

毎月5万くらいの生活費で生きてた、  
家賃1万円で光熱費1万2万とか  
北海道だから冬場はちょっと高くて。

通信費5000円位。  
食費2万とか。

毎月手取り12万~15万くらいだから、  
毎月5万以上は余裕があった。

5万円~10万円の間は浮いてたから  
**毎月5万円以上は「自己投資」してた。**

勉強したりとか、時間あったから色々な勉強した。

S Fとか、トレーニングとか、陰謀論とか、  
世界にはこういう陰謀があるんだみたいな。

ロスチャイルドがどうのこうのとか  
ロックフェラーがどうのこうのとか。  
世界は誰かに「支配されているんだ」みたいな理論とか。

筋トレとかも良くしてたし。

超回復とかデトックスとかファスティングとか。  
カロリー収支とか、マクロ管理法とか、慢性炎症とか、  
免疫力がどうのこうのとか。

すごい詳しいです。

**「アトピー」とかに悩んでたってのもあるんだけど。  
痒みとかでね。**

映画もたくさんみたりとか。

「ゴッドファーザー」とか「7人の侍」とか  
古いのとか最近の「アベンジャーズ系」とかも  
色んなのも見てた。

そういう感じで田舎暮らしを満喫してた。

ひたすら勉強したり、自己投資したりとか、  
ちょっと遊んだりとか。

本を買ったりとか心理学、学んだりとか。

「謎の理論」をいっぱい知ってるやる？（笑）

カメ「はい（笑）すごい広いなって言う」

ここで、結構、基礎が出来たかもしれん。

経済とか政治とか、色々勉強してたり、  
（社長に）教えてもらってたってのもあるんだけど。

恋愛とかナンパ系の商材とかも買ったりとか、  
ムダな勉強もいっぱいしたけどね。

だから、結構カメさんにもだけど、  
講座を受けてくれる人にも言っているけど、

**「情報を絞った方が効率的に結果を出せる」**

って言ってる。

本当、無駄な学習が多いから上手くいかないで  
失敗続きになってしまう。成長が遅い

## 「学習計画」を立てて、 「効率的に勉強すべき」

っていうかね。

ちゃんと稼いだお金をベストな配置で使って、  
ちゃんと「学習のリターンを得る」という考えが  
めっちゃ大事。

この時に、このように特に思って、

ちょっと余談になるけど、  
ナンパとか、恋愛に関係ないようで  
めっちゃ関係ある。

ここが、僕の中で、特に重要。

「(効率的な) 自己投資する」って言うのがね。

## 「どんだけリターンを生む 自己投資をしていくのか」

っていう感じでずっとやってて。

そんな中での女性関係として、

人妻と不倫して旦那にバレて

「訴訟」を起こされそうになったりとかもあった (笑)

ヤバかったで。超マッチョでさ。

怖かったよ俺。ガリガリ旦那だったらまだしも。  
超マッチョやし「ベンチプレス200kg」くらい  
持てるような体型で。

そんなマッチョと揉めたりとか。

一応、実際のところを解説しとくと、

人妻の女性と出会って、3回くらいデートして、  
セックスした後に「私、結婚してるんだよね」って  
打ち明けられたっていうのが実際のところの話ですね。

ちょっと余談になりますが、  
無駄に人妻に手を出して、  
リスクを取るのは止めておきましょう。

他にも、色々あったで。身長172cmの  
**モデル体型の彼女**を作って、  
超身長がでっかい。ヒールも履くから  
180センチとかになる(笑)

大学生の子で18歳の子でルックスはいいねん。  
小顔で色白で、出身は秋田県の女の子だったんだけど。

大学の進学で来てて。黒髪でロングヘアーみたいな。  
お嬢様系の見た目で処女だった。

でも、超性格キツくて。  
身長大きくて、モデル体型で、顔もキツめで、  
ドラマとかに出てきそうな、大学の女王様みたいな感じ。



(こんなルックスの子でした)

性格が好きじゃなかったんだけど、デートも行く場所  
ないし、やることないからセックスばかりしてた。

そんな感じとかで、勉強しながら、  
ちょこちょこトラブル起こしたり(笑)

本当アホだったんだけど。  
いい経験か、今思えばね。

本当今思えば、色々迷惑をかけました人生。

そんな感じだったけど、  
なんかやっぱ中途半端っていうか、

「やりたいことを思いっきりやれてないな」  
って感がある。

## 「このまま妥協して中途半端なまま 人生終わりたくねえみたいな」

ということを思ってて。

このまま、なんか中途半端に、結局そんな金もねえし、

そんな稼げたっていったっていくら稼げんのって感じだし、

セックスはできるようになったけど  
たいしてモテてる訳ではないしさ、

このままだと **「後悔だらけ」** で  
人生終わるかなって思って。

ここで、もう恋愛とかナンパとかコミュニケーションを勉強して5年くらいたってる。

この時で23歳とかそのぐらいだったから。  
だからもう不満足でさ。

先も不透明じゃん。  
だって俺「ナンパする」という理由で  
大卒の時に会社就職しないで（笑）

「ナンパ極める」って言って、  
**「中途半端に彼女とかセフレを作ったり、  
何やってんだろう俺」**

とって。

バンドマンとかよりひどいじゃん。  
俳優とか劇団とかより全然ひどいよね。

そういう人たちでもさ「世間」じゃ  
「えー」みたいな感じで言われたりする。

**俺なんてさ「ナンパする」って言って就職しないで、  
フラフラしてんだよ俺。**

「やべーな、この中途半端感」

って思って。これダメだな。

これからの人生、どうしようと思って。

「めっちゃ怖かった」

理屈じゃないってというか「本能」でやっぱり

**「女の子とやりまくりたかった」**

やっぱり。

なんか、わからんけど。

最初は、失恋をして「女性を知りたい」とか

「好きな子を落としたい」とかあったんだけど。

やっぱり「やりまくりてえな」って思って。

ナンパをマスターしたら

**「色々なタイプの女の子とエッチをできる」**

**「アイドル系とかモデル系とかセクシー系とか  
ロリ系とか色々な女の子とセックス出来んな」**

思って。欲望まみれだよな（笑）

カメ「そうですね（笑）」

「色々なジャンルの女の子とやりまくりたい」  
「美人とやりまくりたい」  
「もっと良い女が欲しい」

みたいななんか「ギラギラ」してた。

さらに、

「ルックス」も「性格」も  
「妥協のないベストな彼女」を作って、惚れてもらって  
「ラブラブ幸せ家庭生活」みたいなのも送りたいし。

色々な欲望があった。

精神的にも安定したいし。

色々な女とやりまくりたいしみたいな。

最初の沖縄で出会った「総帥」や

「1万人斬りのカリスマナンパ師」みたいな。

堂々としてて、カッコよくて、

トーク力もすごくてみたいな。

そういう人になりたいしみたいな。

みんなの**人気者**になりたいし、

**尊敬を集めたい**しみたいな。

じゃあ、このまま言って「そうなれるのか」  
って言われたときに、  
今のままじゃなれないなって思って、

どんな手段を使っても、

**「堂々とカワイイなと思った女の子に  
声をかけてさ。口説いて自由に  
楽しく遊べる自分」**

になりたかった。

このままいったら結局、自分が嫌いなままで終わる  
って思った。まだそんな時も、自信なくてさ。

なんか「**自分の事がキライで、しょぼくて情けないな**」  
って思ってたからこそ、理想を叶えたくてさ。

「このままだったらヤバい」って色々考えてた。

ノートとかに書いたりとかしてね。

このまま妥協して、

よくわからん妥協した彼女とかと付き合ってさ、  
結婚してさ、惚れさせるスキルもないからさ。

女性に主導権を握られて、夫婦喧嘩ばかりしているのに  
ATM扱いされて、子どもの養育費だけ払ってみたいな。

なんか中途半端な気持ちで結婚しちゃうから、  
浮気して離婚しそうだなとかさ。

結局、結婚と離婚を繰り返して、  
養育費だけバンバン払ってみたいな。

## 孤独なジジイ

として死ぬんじゃないかなとか思ってさ。

中途半端な気持ちだから仕事にも集中出来なくて、  
仕事も給料低いままで養育費だけ払って、

親と同じぐらいのさ、結局一緒なのかなと思って。

育ててくれて感謝はしてるけど、  
中の下ぐらいのさ、生活レベルで

- ・狭い家に住んで、家に友達を呼ぶのも恥ずかしい
- ・外食も思う存分に出来なくて、たまのラーメンが精一杯
- ・ペラペラの安い布団で寝て腰が痛い
- ・お金が足りないって不安で喧嘩ばかり
- ・愚痴や不平不満ばかり言ってる人生

になってしまうのが怖かった。

不満足だらけの人生で終わるんじゃないかなって。  
色々な不安が大きくて。

ノートに「メリットとデメリット」を書いて  
**「今の仕事を続けるべき」**か  
**「ナンパに挑むべきか」**  
って。

**「葛藤」** しまくってた。

状況整理しまくって、ベストな判断をするためにね。  
出た結論は

**「やっぱり凄腕ナンパ師を目指そう」**

そこで、リクルートしてもらって、  
生活の世話をしてもらって、申し訳なかったけど、  
働いていた会社を辞めた

「23歳」の終わりくらいだったと思うんだけど。

今思うと最高の決断の1つだったと思うんだけど。

会社辞めて「凄腕ナンパ師になろう」という  
「覚悟」を決めたんでね、その時にね（笑）

誰からも理解されない覚悟（笑）

「自分の欲望を追う人生」

っていう考えに、その時にガラッとシフトした。

本当にその時に、決めたっていう感じかな。  
すごく「いい決断」だったと今思えば思うけどね。

結構、長くなってきたね（笑）

カメ「そうですね（笑）」

サラッと終わるつもりだったんだけど、  
とりあえず今日の音声ここまでで。

また、後日また送りします！

お仕事頑張ってください！